

令和6年度前期 札幌支部活動報告

北海道学校体育研究連盟 札幌支部 事務局長 野村 淳一

1. 年間活動計画

- 令和6年度 札幌市学校体育研究連盟「定期総会・研修会」 5月2日（木）
- 第1回役員会 ①5月9日（木） ②3月10日（月）
- 事務局会 ①5月21日（火） ②6月13日（木） ③9月2日（月）→全道大会実行委員会の動き ④11月21日（木） ⑤2月19日（水）
- 「夏季実技研修会」 7月29日（月）
会場：札幌市立澄川南小学校 参加者：約70名
- 第60回北海道学校体育研究大会札幌大会
兼 第64回全国学校体育研究大会北海道大会プレ大会
兼 第33回札幌市学校体育研究大会 10月18日（金）
第1分科会：札幌市立北九条小学校
第2分科会：札幌市立白楊小学校
第3分科会：札幌市立羊丘中学校
全 体 会：札幌サンプラザ
- 第62回全国学校体育研究大会山口大会参加予定 11月14日（木）・15日（金）
- 札幌市教育委員会専門研修「スキー指導」 講師派遣予定 1月8日（水）
- 冬季学習会 会場：未定 1月10日（金）

2. 活動報告

（1）夏季実技研修会

札幌市内の連盟会員の他、一般教員にも呼び掛けて実施した。

「器械運動」「体育の幹」「表現運動」の三つをグループごとにローテーションしながら、低・中・高学年それぞれの授業に仕える技やポイントを学んだ。

①器械運動（マット運動・跳び箱運動）

*子どもたちが安心してチャレンジできる学習環境を整えるために多様な活動の場を学んだ。技能に応じたレベルの場を工夫することで、能力や課題に合わせた場を選択することができる。

②体育の幹

*安全面の指導や効果的な準備運動、そして小中接続の視点として中学校とのつながりを意識した指導について学んだ。中学校教諭も講師として参加した。

③表現運動

*まずは「楽しむ」ことが大切である。変化や起伏のある題材を選び、三部構成で表現することが重要であることを学んだ。

